

2020 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	扇谷 恵美子	職名	教授	学位	学士 (教育学) (福岡教育大学 1975)
----	--------	----	----	----	------------------------

研究分野	研究内容のキーワード
学校における食育 食育における栄養教諭の役割	栄養教諭、食育の系統性、食育の全体計画 食育と学習指導、食育と給食指導

研究課題
1. 小学校や保育園における食育の現代的課題を探り、解決に向けての具体的手立てを検討する。 2. 栄養教諭に求められる資質や力量を、具体的に探る。

担当授業科目
学校栄養指導論Ⅰ (3年前期) 学校栄養指導論Ⅱ (3年後期) 事前及び事後の指導 (3年後期～4年後期) 栄養教育実習 (4年前期～4年後期) 教育実践演習 (4年後期)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 学校栄養指導論Ⅰ 】</p> <p>本科目は、栄養教諭の職務内容や職務の実態を学ぶ専門科目である。学校給食の意義と栄養教諭の使命や役割を理解して、児童生徒の食に関する課題とその解決策を探る意識・態度をもつことを目標とする。</p> <p>教師として不可欠な「自ら学ぼうとする」力を伸ばすために、授業では、文献を調べる調査活動と感想や意見を発表する表現活動を多く設定して、授業に主体的積極的に取り組ませた。また、文を書く場面を多く設けて、文章を書くことへの抵抗感を減らすようにした。授業は、非常勤講師の先生に協力いただきオンラインで実施した。</p>
<p>授業科目名【 学校栄養指導論Ⅱ 】</p> <p>本科目は、学校栄養指導論Ⅰを踏まえて、小学校・中学校における食に関する指導内容を理解して、授業計画を作成したり具体的指導方法を理解したりすることを目標とする。授業は、非常勤講師の先生と担当し、自作ワークシートを中心に進めていった。毎回、小テストを実施して、重要ポイントの確認と知識の定着を目指した。</p> <p>授業構想案は、個別指導を実施しながら、各自に3回以上修正させて、現実的な授業構想案へと導いた。なお、相手が理解しやすいスピーチ力を身につけさせるために、殆どがオンライン授業ではあったが、毎回、対象とする児童生徒の年齢を変えた1分間スピーチを実施した。</p>
<p>授業科目名【 事前及び事後の指導 】</p> <p>本科目は、教育現場における栄養教育実習を受けるに当たっての心構えや留意事項、具体的な指導方法を理解し、習得して、効果的な栄養教育実習を実践することを目標とする。また、実習の終了後には、実習に関する反省や問題点等の分析を行って、今後の実践に繋いでいくことも目標である。</p> <p>オンライン授業ではあったが、学習指導案の作成や模擬授業を繰り返して、実習校からの要望に対応できるレベルの指導スキルの習得を目指した。なお、大学に許可をいただいて、教育実習直前の9月中旬に希望者へ対面での個別指導を実施した。</p> <p>実習終了後には、実習報告書や発表資料を作成しての実習報告会を実施した。これからの教師には、効果的なプレゼンができる表現力も必要である。そのため、資料や原稿を自作して一人当たりが7分程度のプレゼンでの報告会とした。</p>

授業科目名【 栄養教育実習 】

本科目は、履修した教職科目での理論やスキルを基礎に、学校での食の指導を推進する一端を体験することを目標とする。また、児童生徒の人格形成、身体の成長と発達に寄与し、教育における研究課題を発見するとともに、自己の望ましい教師像を形成することも目標である。こうした実体験は、教師としての実践的・研究的能力を高めるものである。

大学の指導者は、実習中に実習校を訪問した。(ただし、コロナ流行の為に、訪問は遠慮してほしいとの実習校には、訪問せず。) 実習先の管理職や学級担任、栄養教諭等と意見交換を行うことによって、学生が大学に戻ってからの指導や次年度以降の栄養教育実習の改善に繋いだ。

授業科目名【 教職実践演習(栄養教諭) 】

本科目では、他学科の教職課程担当者と協力しての授業を一部含めながら、これまでの教職課程での学習や教育実習を振り返って、栄養教諭としての使命感、資質・能力、指導スキル等を考察していった。そして、将来的に栄養教諭になるためにまだ各自に不足している部分の向上を目標とした。

授業では、各自に残された課題に対して、具体的手立てを講じて解決を目指す場を構想させた。また、外部講師として現職の栄養教諭を招いて実践発表を聞き、オンラインではあったが、交流の場も設けた。実習先以外の栄養教諭と関わらせて多様な視点をもたせ、「栄養教諭になるための学び」の集大成とした。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期

2020年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)

(1) 共 同 研 究

研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 ( ) 内は学外者	交付決定額 (単位:円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
社会福祉法人真照会 則松保育園	理事	2014年4月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

教員採用試験対策の個別指導（一次試験、二次試験、三次試験）